



# わかちあいプロジェクト

## NEWS No.14

1999 DECEMBER

Merry Christmas and a Happy New Year



十二月七日の歓迎会

### AMBACHEW★

#### 一人からはじまる希望

松木 傑 代表

エリトリアでコンピューターの学校をはじめる準備をしていたとき、新聞の記事がきっかけで、日本人女性と婚約していたエリトリア人のガブリエルさんと知り合いになりました。彼は現在アメリカの大学でコンピューターを教え、大学のコンピューターの管理をしています。

今年、彼は私を尋ねてくれました。彼も高校時代、スーダンで難民として過ごし、苦しいなかで勉学に励み、教会から奨学金をえてアメリカに渡った体験を語ってくれました。

「何が一番、難民の人を助ますことになるか」と尋ねると、一人、二人の人を支えることが、他の多くの難民を助まし、彼らに希望を与えること

になると教えてくれました。その一人によって希望への道が開かれるのです。

私はそれから彼のこの言葉に導かれて、カクマのマラソンランナー、アンバチョウの支援に取り組み、12月5日の福岡国際マラソン参加まで準備してきました。諦めないで、夢を求めて努力する彼の希望を共に担うことは、ただ単に、彼のため、難民のためではなく、彼を支えた私たちもまた夢を見ることであり、希望を共有することになると教えられました。

一人からはじまる希望、これはクリスマスのメッセージでもあります。

## コーヒー紅茶プロジェクト

2

### ガテマラ有機栽培コーヒー



新製品



### カンボジア産 胡椒



胡椒の山と子ども

#### チャフレンセ・バルバクキオル(Chajulense Val'vaquyol)協会

チャフレンセ・バルバクキオル協会は、1990年に設立された非営利、かつ非政治的な団体であり、その目標とするところは、マヤ・イシルのコミュニティ精神を高揚し、評価すると共に、種族のあらゆる問題を改善していくことである。それらすべてのことは、自助と自立に基づく総合的な開発という視点に立って推進される。そこではコミュニティ参加環境保護および住民文化と民族性の尊重が重視される。

協会はマヤ・イシルの会員を対象としているがキチエおよびカンボパルの各種族に属する会員も含まれている。現在、協会は2,583人以上の会員を有しこのうち500人以上は女性である。協会の影響範囲は広くキチエの4つの市町村と、ウエウエテナゴの3市町村を含んでおり、合計48のコミュニティを対象としている。新会員の訓練は明るいい見通しを示している。

現在見られる協会の拡大が、そのことを証明している。1990年末には会員約250名であったが、1991年末には700人となり、1992年6月には1,573人に増加した。さらに、1993年12月には2,000人となり、1998年末には2,583人に達した。しかし、実際に協会から恩恵を受けている住民は約4万人に達している。

有機(オーガニック)コーヒー:これは最も重要な生産プロジェクトとなっている。協会内で最大規模の活動となっており、協会収入の大きな部分をもたらしてくれるからである。有機コーヒーが収穫され、特にオランダ、イタリア、デンマーク、スイスおよびドイツといった欧州市場のほか、米国市場にも輸出されている。

1994年にカンボジアの支援を始めましたが、何かカンボジアの特産品で皆様に買っていただけるものがないかと探していました。カンボジアから来たカポチャはどうか? と思い調べましたが生のカポチャは、害虫の規制で日本への輸入はできません。手工芸品は、まだ日本で売れるほど洗練されたものはありません。

一昨年、旅行ブックで、カンボジアの特産品カンボットの胡椒という記述を発見、さっそく2月に学校建設のワークキャンプにでかけた機会に、サンプルをマーケットで購入しました。タイで売られている胡椒より、粒も大きく良質でした。

5月に来年のワークキャンプの下見にでかけた折に、足をのびしてカンボットにゆき、農家を訪問して実験的に20キロを持ち帰りました。購入した量が少なかったために、直ぐに品切れになってしまいました。

現在、カンボットを活動地域にしている NGO のUCC (United Cambodian Community) と協力して胡椒生産者組合をつくることを相談しています。

2000年にはこの働きが伸展することを願っています。



トランスフェア日本のホームページ

[www.wakachiai.com/transfair](http://www.wakachiai.com/transfair)